

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-122004

(P2019-122004A)

(43) 公開日 令和1年7月22日(2019.7.22)

(51) Int.Cl.
H04W 24/10 (2009.01)F I
H04W 24/10テーマコード (参考)
5K067

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 32 頁)

(21) 出願番号 特願2018-2525 (P2018-2525)
(22) 出願日 平成30年1月11日 (2018.1.11)(71) 出願人 000005049
シャープ株式会社
大阪府堺市堺区匠町 1 番地
(74) 代理人 100160783
弁理士 堅田 裕之
(72) 発明者 横枕 一成
大阪府堺市堺区匠町 1 番地 シャープ株式
会社内
(72) 発明者 山田 昇平
大阪府堺市堺区匠町 1 番地 シャープ株式
会社内
(72) 発明者 坪井 秀和
大阪府堺市堺区匠町 1 番地 シャープ株式
会社内

最終頁に続く

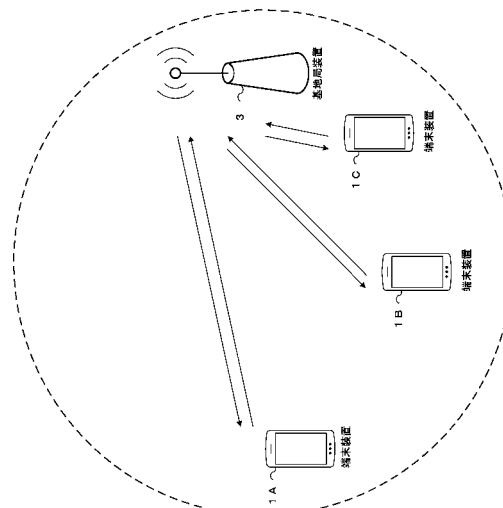
(54) 【発明の名称】 基地局装置、端末装置、通信方法、および、集積回路

(57) 【要約】

【課題】 C S I を効率的に送信する。

【解決手段】 第1の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを受信する受信部と、チャネル状態情報 (C S I) を報告する送信部と、を備え、第1の情報フィールドは、第1の情報を示し、前記第1の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1つまたは複数のC S I 報告の設定、1つまたは複数のC S I 測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分 (BWP) インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおけるBWPのC S I 報告がトリガされた場合に、活性化されているBWPインデックスが示すBWPのみのC S I 報告を送信する。。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

端末装置であって、

第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを受信する受信部と、

チャネル状態情報（C S I）を報告する送信部と、を備え、

第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、

前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、

前記複数の状態の各々の状態は、

サービングセルごとに設定され、

1つまたは複数の C S I 報告の設定、

1つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、

各サービングセルにおける帯域部分（B W P）インデックスに関連付けられ、

複数のサービングセルにおける B W P の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている B W P インデックスが示す B W P のみの C S I 報告を送信する

端末装置。

10

【請求項 2】

基地局装置であって、

第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを送信する送信部と、

20

チャネル状態情報（C S I）報告を受信する受信部と、を備え、

第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、

前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、

サービングセルごとに設定され、

1つまたは複数の C S I 報告の設定、

1つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、

各サービングセルにおける帯域部分（B W P）インデックスに関連付けられ、

複数のサービングセルにおける B W P の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている B W P インデックスが示す B W P のみの C S I 報告を受信する

基地局装置。

30

【請求項 3】

端末装置の通信方法であって、

第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを受信し、

チャネル状態情報（C S I）を報告し、

第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、

前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、

サービングセルごとに設定され、

1つまたは複数の C S I 報告の設定、

1つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、

40

各サービングセルにおける帯域部分（B W P）インデックスに関連付けられ、

複数のサービングセルにおける B W P の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている B W P インデックスが示す B W P のみの C S I 報告を送信する

通信方法。

【請求項 4】

基地局装置の通信方法であって、

第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを送信、

チャネル状態情報報告を受信し、

第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、

50

前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、
1つまたは複数の C S I 報告の設定、
1つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、
各サービングセルにおける帯域部分 (BWP) インデックスに関連付けられ、
複数のサービングセルにおける BWP の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている BWP インデックスが示す BWP のみの C S I 報告を受信する
通信方法。

【請求項 5】

端末装置に搭載される集積回路であって、
第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを受信する受信手段と、
チャネル状態情報 (C S I) を報告する送信手段と、を備え、
第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、
前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、
1つまたは複数の C S I 報告の設定、
1つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、
各サービングセルにおける帯域部分 (BWP) インデックスに関連付けられ、
複数のサービングセルにおける BWP の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている BWP インデックスが示す BWP のみの C S I 報告を送信する
集積回路。

【請求項 6】

基地局装置に搭載される集積回路であって、
第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを送信する送信手段と、
チャネル状態情報 (C S I) 報告を受信する受信手段と、を備え、
第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、
前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、
1つまたは複数の C S I 報告の設定、
1つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、
各サービングセルにおける帯域部分 (BWP) インデックスに関連付けられ、
複数のサービングセルにおける BWP の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている BWP インデックスが示す BWP のみの C S I 報告を受信する
集積回路。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、基地局装置、端末装置、通信方法、および、集積回路に関する。

【背景技術】

【0002】

現在、第 5 世代のセルラーシステムに向けた無線アクセス方式および無線ネットワーク技術として、第三世代パートナーシッププロジェクト (3GPP: The Third Generation Partnership Project) において、LTE (Long Term Evolution) -Advanced Pro 及び NR (New Radio technology) の技術検討及び規格策定が行われている (非特許文献 1)。

【0003】

第 5 世代のセルラーシステムでは、高速・大容量伝送を実現する eMBB (enhanced Mobile BroadBand)、低遅延・高信頼通信を実現する URLLC (Ultra-Reliable and Low Latency

10

20

30

40

50

Communication)、IoT (Internet of Things) などマシン型デバイスが多数接続するmMTC (massive Machine Type Communication) の3つがサービスの想定シナリオとして要求されている。

【先行技術文献】

【非特許文献】

【0004】

【非特許文献1】RP-161214, NTT DOCOMO, “Revision of SI: Study on New Radio Access Technology”, 2016年6月

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

10

【0005】

本発明の目的は、上記のような無線通信システムにおいて、基地局装置と端末装置が、効率的に端末装置、基地局装置、通信方法、および、集積回路を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

(1) 上記の目的を達成するために、本発明の態様は、以下のような手段を講じた。すなわち、本発明の一態様における端末装置は、第1の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを受信する受信部と、チャネル状態情報(CSI)を報告する送信部と、を備え、第1の情報フィールドは、第1の情報を示し、前記第1の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1つまたは複数のCSI報告の設定、1つまたは複数のCSI測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分(BWP)インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおけるBWPのCSI報告がトリガされた場合に、活性化されているBWPインデックスが示すBWPのみのCSI報告を送信する。

20

【0007】

(2) また、本発明の一態様における基地局装置は、第1の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを送信する送信部と、チャネル状態情報(CSI)報告を受信する受信部と、を備え、第1の情報フィールドは、第1の情報を示し、前記第1の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1つまたは複数のCSI報告の設定、1つまたは複数のCSI測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分(BWP)インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおけるBWPのCSI報告がトリガされた場合に、活性化されているBWPインデックスが示すBWPのみのCSI報告を受信する。

30

【0008】

(3) また、本発明の一態様における通信方法は、端末装置の通信方法であって、第1の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを受信し、チャネル状態情報(CSI)を報告し、第1の情報フィールドは、第1の情報を示し、前記第1の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1つまたは複数のCSI報告の設定、1つまたは複数のCSI測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分(BWP)インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおけるBWPのCSI報告がトリガされた場合に、活性化されているBWPインデックスが示すBWPのみのCSI報告を送信する。

40

【0009】

(4) また、本発明の一態様における通信方法は、基地局装置の通信方法であって、第1の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを送信、チャネル状態情報報告を受信し、第1の情報フィールドは、第1の情報を示し、前記第

50

1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1つまたは複数の C S I 報告の設定、1つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分 (B W P) インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおける B W P の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている B W P インデックスが示す B W P のみの C S I 報告を受信する。

【0010】

(5) また、本発明の一態様における集積回路は、端末装置に実装される集積回路であって、端末装置に実装される集積回路であって、第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを受信する受信手段と、チャネル状態情報 (C S I) を報告する送信手段と、を備え、第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1つまたは複数の C S I 報告の設定、1つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分 (B W P) インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおける B W P の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている B W P インデックスが示す B W P のみの C S I 報告を送信する。

【0011】

(6) また、本発明の一態様における通信方法は、基地局装置に実装される集積回路であって、第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを送信する送信手段と、チャネル状態情報 (C S I) 報告を受信する受信手段と、を備え、第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1つまたは複数の C S I 報告の設定、1つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分 (B W P) インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおける B W P の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている B W P インデックスが示す B W P のみの C S I 報告を受信する。

【発明の効果】

【0012】

この発明によれば、基地局装置と端末装置が、効率的に通信することができる。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図 1】本実施形態における無線通信システムの概念を示す図である。

【図 2】本実施形態における下りリンクスロットの概略構成の一例を示す図である。

【図 3】サブフレーム、スロット、ミニスロットの時間領域における関係を示した図である。

【図 4】スロットまたはサブフレームの一例を示す図である。

【図 5】ビームフォーミングの一例を示した図である。

【図 6】非周期 C S I 報告の設定に関する一例を示した図である。

【図 7】非周期 C S I 報告の設定に関する一例を示した図である。

【図 8】複数のサービングセルが設定された場合の非周期 C S I 報告の設定に関する一例を示した図である。

【図 9】本実施形態における端末装置 1 の構成を示す概略ブロック図である。

【図 10】本実施形態における基地局装置 3 の構成を示す概略ブロック図である。

【発明を実施するための形態】

【0014】

以下、本発明の実施形態について説明する。

【0015】

図 1 は、本実施形態における無線通信システムの概念図である。図 1 において、無線通信システムは、端末装置 1 A ~ 1 C、および基地局装置 3 を具備する。以下、端末装置 1

10

20

30

40

50

A～1Cを端末装置1とも称する。

【0016】

端末装置1は、ユーザ端末、移動局装置、通信端末、移動機、端末、UE (User Equipment)、MS (Mobile Station)とも称される。基地局装置3は、無線基地局装置、基地局、無線基地局、固定局、NB (Node B)、eNB (evolved Node B)、BTS (Base Transceiver Station)、BS (Base Station)、NR NB (NR Node B)、NNB、TRP (Transmission and Reception Point)、gNBとも称される。

【0017】

図1において、端末装置1と基地局装置3の間の無線通信では、サイクリックプレフィックス (CP: Cyclic Prefix) を含む直交周波数分割多重 (OFDM: Orthogonal Frequency Division Multiplexing)、シングルキャリア周波数多重 (SC-FDM: Single-Carrier Frequency Division Multiplexing)、離散フーリエ変換拡散OFDM (DFT-S-OFDM: Discrete Fourier Transform Spread OFDM)、マルチキャリア符号分割多重 (MC-CDM: Multi-Carrier Code Division Multiplexing) が用いられてもよい。

【0018】

また、図1において、端末装置1と基地局装置3の間の無線通信では、ユニバーサルフィルタマルチキャリア (UFMC: Universal-Filtered Multi-Carrier)、フィルタOFDM (F-OFDM: Filtered OFDM)、窓関数が乗算されたOFDM (Windowed OFDM)、フィルタバンクマルチキャリア (FBMC: Filter-Bank Multi-Carrier) が用いられてもよい。

【0019】

なお、本実施形態ではOFDMを伝送方式としてOFDMシンボルで説明するが、上述の他の伝送方式の場合を用いた場合も本発明に含まれる。

【0020】

また、図1において、端末装置1と基地局装置3の間の無線通信では、CPを用いない、あるいはCPの代わりにゼロパディングをした上述の伝送方式が用いられてもよい。また、CPやゼロパディングは前方と後方の両方に付加されてもよい。

【0021】

図1において、端末装置1と基地局装置3の間の無線通信では、サイクリックプレフィックス (CP: Cyclic Prefix) を含む直交周波数分割多重 (OFDM: Orthogonal Frequency Division Multiplexing)、シングルキャリア周波数多重 (SC-FDM: Single-Carrier Frequency Division Multiplexing)、離散フーリエ変換拡散OFDM (DFT-S-OFDM: Discrete Fourier Transform Spread OFDM)、マルチキャリア符号分割多重 (MC-CDM: Multi-Carrier Code Division Multiplexing) が用いられてもよい。

【0022】

図1において、端末装置1と基地局装置3の無線通信では、以下の物理チャネルが用いられる。

【0023】

- ・PBCH (Physical Broadcast CHannel)
- ・PDCCH (Physical Downlink Control CHannel)
- ・PDSCH (Physical Downlink Shared CHannel)
- ・PUCCH (Physical Uplink Control CHannel)
- ・PUSCH (Physical Uplink Shared CHannel)
- ・PRACH (Physical Random Access CHannel)

【0024】

PBCHは、端末装置1が必要な重要なシステム情報を含む重要情報ブロック (MIB: Master Information Block、EIB: Essential Information Block、BCH: Broadcast Channel) を報知するために用いられる。

【0025】

また、PBCHは、同期信号のブロック (SS/PBCHブロックとも称する) の周期内の時間インデックスを報知するために用いられてよい。ここで、時間インデックスは、

セル内の同期信号および P B C H のインデックスを示す情報である。例えば、3つの送信ビーム（送信フィルタ設定、受信空間パラメータに関する擬似同位置想定（Q C L : Quasi-CoLocation））を用いて S S / P B C H ブロックを送信する場合、予め定められた周期内または設定された周期内の時間順を示してよい。また、端末装置は、時間インデックスの違いを送信ビームの違いと認識してもよい。

【0026】

P D C C H は、下りリンクの無線通信（基地局装置 3 から端末装置 1 への無線通信）において、下りリンク制御情報（Downlink Control Information: DCI）を送信する（または運ぶ）ために用いられる。ここで、下りリンク制御情報の送信に対して、1つまたは複数の D C I（D C I フォーマットと称してもよい）が定義される。すなわち、下りリンク制御情報に対するフィールドが D C I として定義され、情報ビットへマップされる。

10

【0027】

例えば、以下の D C I フォーマットが定義されてよい。

- ・ D C I フォーマット 0 __ 0
- ・ D C I フォーマット 0 __ 1
- ・ D C I フォーマット 1 __ 0
- ・ D C I フォーマット 1 __ 1
- ・ D C I フォーマット 2 __ 0
- ・ D C I フォーマット 2 __ 1
- ・ D C I フォーマット 2 __ 2
- ・ D C I フォーマット 2 __ 3

20

【0028】

D C I フォーマット 0 __ 0 は、P U S C H のスケジューリング情報（周波数領域リソース割当及び時間領域リソース割当）を示す情報を含んでよい。

【0029】

D C I フォーマット 0 __ 1 は、P U S C H のスケジューリング情報（周波数領域リソース割当及び時間領域リソース割当）を示す情報、帯域部分（B W P : BandWidth Part）を示す情報、チャネル状態情報（C S I : Channel State Information）リクエスト、サウンディング参照信号（S R S : Sounding Reference Signal）リクエスト、アンテナポートに関する情報を含んでよい。

30

【0030】

D C I フォーマット 1 __ 0 は、P D S C H のスケジューリング情報（周波数領域リソース割当及び時間領域リソース割当）を示す情報を含んでよい。

【0031】

D C I フォーマット 1 __ 1 は、P D S C H のスケジューリング情報（周波数領域リソース割当及び時間領域リソース割当）を示す情報、帯域部分（B W P）を示す情報、送信設定指示（T C I : Transmission Configuration Indication）、アンテナポートに関する情報を含んでよい。

【0032】

D C I フォーマット 2 __ 0 は、1つまたは複数のスロットのスロットフォーマットを通知するために用いられる。スロットフォーマットは、スロット内の各 O F D M シンボルが下りリンク、フレキシブル、上りリンクのいずれかに分類されたものとして定義される。例えば、スロットフォーマットが 2 8 の場合、スロットフォーマット 2 8 が指示されたスロット内の 1 4 シンボルの O F D M シンボルに対して D D D D D D D D D D D D D D X U が適用される。ここで、D が下りリンクシンボル、X がフレキシブルシンボル、U が上りリンクシンボルである。なお、スロットについては後述する。

40

【0033】

D C I フォーマット 2 __ 1 は、端末装置 1 に対して、送信がないと想定してよい物理リソースブロックと O F D M シンボルを通知するために用いられる。なお、この情報はプリエンブション指示（間欠送信指示）と称してよい。

50

【0034】

D C I フォーマット 2 __ 2 は、P U S C H および P U S C H のための送信電力制御 (T P C : Transmit Power Control) コマンドの送信のために用いられる。

【0035】

D C I フォーマット 2 __ 3 は、1 または複数の端末装置 1 によるサウンディング参照信号 (S R S) 送信のための T P C コマンドのグループを送信するために用いられる。また、T P C コマンドとともに、S R S リクエストが送信されてもよい。また、D C I フォーマット 2 __ 3 に、P U S C H および P U C C H のない上りリンク、または S R S の送信電力制御が P U S C H の送信電力制御と紐付いていない上りリンクのために、S R S リクエストと T P C コマンドが定義されてよい。

10

【0036】

下りリンクに対する D C I を、下りリンクグラント (downlink grant)、または、下りリンクアサインメント (downlink assignment) とともに称する。ここで、上りリンクに対する D C I を、上りリンクグラント (uplink grant)、または、上りリンクアサインメント (Uplink assignment) とともに称する。

【0037】

P U C C H は、上りリンクの無線通信 (端末装置 1 から基地局装置 3 の無線通信) において、上りリンク制御情報 (Uplink Control Information: UCI) を送信するために用いられる。ここで、上りリンク制御情報には、下りリンクのチャネルの状態を示すために用いられるチャネル状態情報 (CSI: Channel State Information) が含まれてもよい。また、上りリンク制御情報には、U L - S C H リソースを要求するために用いられるスケジューリング要求 (SR: Scheduling Request) が含まれてもよい。また、上りリンク制御情報には、H A R Q - A C K (Hybrid Automatic Repeat request ACKnowledgement) が含まれてもよい。H A R Q - A C K は、下りリンクデータ (Transport block, Medium Access Control Protocol Data Unit: MAC PDU, Downlink-Shared Channel: DL-SCH) に対する H A R Q - A C K を示してもよい。

20

【0038】

P D S C H は、媒介アクセス (MAC: Medium Access Control) 層からの下りリンクデータ (DL-SCH: Downlink Shared CHannel) の送信に用いられる。また、下りリンクの場合にはシステム情報 (SI: System Information) やランダムアクセス応答 (RAR: Random Access Response) などの送信にも用いられる。

30

【0039】

P U S C H は、M A C 層からの上りリンクデータ (UL-SCH: Uplink Shared Channel) または上りリンクデータと共に H A R Q - A C K および / または C S I を送信するために用いられてもよい。また、C S I のみ、または、H A R Q - A C K および C S I のみを送信するために用いられてもよい。すなわち、U C I のみを送信するために用いられてもよい。

【0040】

ここで、基地局装置 3 と端末装置 1 は、上位層 (higher layer) において信号をやり取り (送受信) する。例えば、基地局装置 3 と端末装置 1 は、無線リソース制御 (RRC: Radio Resource Control) 層において、R R C シグナリング (RRC message: Radio Resource Control message, RRC information: Radio Resource Control information とともに称される) を送受信してもよい。また、基地局装置 3 と端末装置 1 は、M A C (Medium Access Control) 層において、M A C コントロールエレメントを送受信してもよい。ここで、R R C シグナリング、および / または、M A C コントロールエレメントを、上位層の信号 (higher layer signaling) とともに称する。ここでの上位層は、物理層から見た上位層を意味するため、M A C 層、R R C 層、R L C 層、P D C P 層、N A S (Non Access Stratum) 層などの一つまたは複数を含んでもよい。例えば、M A C 層の処理において上位層とは、R R C 層、R L C 層、P D C P 層、N A S 層などの一つまたは複数を含んでもよい。

40

【0041】

50

P D S C HまたはP U S C Hは、R R Cシグナリング、および、M A Cコントロールエレメントを送信するために用いられてもよい。ここで、P D S C Hにおいて、基地局装置3から送信されるR R Cシグナリングは、セル内における複数の端末装置1に対して共通のシグナリングであってもよい。また、基地局装置3から送信されるR R Cシグナリングは、ある端末装置1に対して専用のシグナリング(dedicated signalingとも称する)であってもよい。すなわち、端末装置固有(U Eスペシフィック)の情報は、ある端末装置1に対して専用のシグナリングを用いて送信されてもよい。また、P U S C Hは、上りリンクにおいてU Eの能力(U E Capability)の送信に用いられてもよい。

【0042】

図1において、下りリンクの無線通信では、以下の下りリンク物理信号が用いられる。ここで、下りリンク物理信号は、上位層から出力された情報を送信するために使用されないが、物理層によって使用される。

- ・同期信号(Synchronization signal: SS)
- ・参照信号(Reference Signal: RS)

【0043】

同期信号は、プライマリ同期信号(P S S : Primary Synchronization Signal)およびセカンダリ同期信号(S S S)を含んでよい。P S SとS S Sを用いてセルIDが検出されてよい。

【0044】

同期信号は、端末装置1が下りリンクの周波数領域および時間領域の同期をとるために用いられる。ここで、同期信号は、端末装置1が基地局装置3によるプリコーディングまたはビームフォーミングにおけるプリコーディングまたはビームの選択に用いられて良い。なお、ビームは、送信または受信フィルタ設定と呼ばれてもよい。

【0045】

参照信号は、端末装置1が物理チャネルの伝搬路補償を行うために用いられる。ここで、参照信号は、端末装置1が下りリンクのC S Iを算出するためにも用いられてよい。また、参照信号は、無線パラメータやサブキャリア間隔などのヌメロロジーやF F Tの窓同期などができる程度の細かい同期(Fine synchronization)に用いられて良い。

【0046】

本実施形態において、以下の下りリンク参照信号のいずれか1つまたは複数が用いられる。

- ・D M R S (Demodulation Reference Signal)
- ・C S I - R S (Channel State Information Reference Signal)
- ・P T R S (Phase Tracking Reference Signal)
- ・T R S (Tracking Reference Signal)

【0047】

D M R Sは、変調信号を復調するために使用される。なお、D M R Sには、P B C Hを復調するための参照信号と、P D S C Hを復調するための参照信号の2種類が定義されてもよいし、両方をD M R Sと称してもよい。C S I - R Sは、チャネル状態情報(C S I : Channel State Information)の測定およびビームマネジメントに使用される。P T R Sは、位相雑音に起因する周波数オフセットを保証する目的で、時間軸で位相をトラックするために使用される。T R Sは、高速移動時におけるドップラーシフトを保証するために使用される。なお、T R SはC S I - R Sの1つの設定として用いられてよい。例えば、1ポートのC S I - R SがT R Sとして無線リソースが設定されてもよい。

【0048】

本実施形態において、以下の上りリンク参照信号のいずれか1つまたは複数が用いられる。

- ・D M R S (Demodulation Reference Signal)
- ・P T R S (Phase Tracking Reference Signal)
- ・S R S (Sounding Reference Signal)

10

20

30

40

50

【0049】

DMRSは、変調信号を復調するために使用される。なお、DMRSには、PUSCHを復調するための参照信号と、PUSCHを復調するための参照信号の2種類が定義されてもよいし、両方をDMRSと称してもよい。SSは、上りリンクチャネル状態情報(CSI)の測定、チャネルサウンディング、およびビームマネジメントに使用される。PTRSは、位相雑音に起因する周波数オフセットを保証する目的で、時間軸で位相をトラックするために使用される。

【0050】

下りリンク物理チャネルおよび／または下りリンク物理シグナルを総称して、下りリンク信号と称する。上りリンク物理チャネルおよび／または上りリンク物理シグナルを総称して、上りリンク信号と称する。下りリンク物理チャネルおよび／または上りリンク物理チャネルを総称して、物理チャネルと称する。下りリンク物理シグナルおよび／または上りリンク物理シグナルを総称して、物理シグナルと称する。

10

【0051】

BCH、UL-SCHおよびDL-SCHは、トランスポートチャネルである。媒体アクセス制御(MAC:Medium Access Control)層で用いられるチャネルをトランスポートチャネルと称する。MAC層で用いられるトランスポートチャネルの単位を、トランスポートブロック(TB:transport block)および／またはMAC PDU(Protocol Data Unit)とも称する。MAC層においてトランスポートブロック毎にHARQ(Hybrid Automatic Repeat reQuest)の制御が行われる。トランスポートブロックは、MAC層が物理層に渡す(deliver)データの単位である。物理層において、トランスポートブロックはコードワードにマップされ、コードワード毎に符号化処理が行われる。

20

【0052】

また、参照信号は、無線リソース測定(RRM:Radio Resource Measurement)に用いられてよい。また、参照信号は、ビームマネジメントに用いられてよい。

【0053】

ビームマネジメントは、送信装置(下りリンクの場合は基地局装置3であり、上りリンクの場合は端末装置1である)におけるアナログおよび／またはデジタルビームと、受信装置(下りリンクの場合は端末装置1、上りリンクの場合は基地局装置3である)におけるアナログおよび／またはデジタルビームの指向性を合わせ、ビーム利得を獲得するための基地局装置3および／または端末装置1の手続きであってよい。

30

【0054】

なお、ビームペアリンクを構成、設定または確立する手続きとして、下記の手続きを含んでよい。

- ・ビーム選択(Beam selection)
- ・ビーム改善(Beam refinement)
- ・ビームリカバリ(Beam recovery)

【0055】

例えば、ビーム選択は、基地局装置3と端末装置1の間の通信においてビームを選択する手続きであってよい。また、ビーム改善は、さらに利得の高いビームの選択、あるいは端末装置1の移動によって最適な基地局装置3と端末装置1の間のビームの変更をする手続きであってよい。ビームリカバリは、基地局装置3と端末装置1の間の通信において遮蔽物や人の通過などにより生じるブロッキングにより通信リンクの品質が低下した際にビームを再選択する手続きであってよい。

40

【0056】

ビームマネジメントには、ビーム選択、ビーム改善が含まれてよい。ビームリカバリには、下記の手続きを含んでよい。

- ・ビーム失敗(beam failure)の検出
- ・新しいビームの発見
- ・ビームリカバリリクエストの送信

50

・ビームリカバリリクエストに対する応答のモニタ

【0057】

例えば、端末装置1における基地局装置3の送信ビームを選択する際にCSI-RSまたはSS/PBCHブロックに含まれるSSSのRSRP (Reference Signal Received Power) を用いてもよいし、CSIを用いてもよい。また、基地局装置3への報告としてCSI-RSリソースインデックス (CRI: CSI-RS Resource Index) を用いてもよいし、SS/PBCHブロックに含まれるPBCHおよび/またはPBCHの復調に用いられる復調用参照信号 (DMRS) の系列で指示されるインデックスを用いてもよい。

【0058】

また、基地局装置3は、端末装置1へビームを指示する際にCRIまたはSS/PBCHの時間インデックスを指示し、端末装置1は、指示されたCRIまたはSS/PBCHの時間インデックスに基づいて受信する。このとき、端末装置1は指示されたCRIまたはSS/PBCHの時間インデックスに基づいて空間フィルタを設定し、受信してよい。また、端末装置1は、疑似同位置 (QCL: Quasi-Co-Location) の想定を用いて受信してもよい。ある信号 (アンテナポート、同期信号、参照信号など) が別の信号 (アンテナポート、同期信号、参照信号など) とQCLであるまたは、QCL想定されとは、ある信号が別の信号と関連付けられていると解釈できる。

【0059】

もしあるアンテナポートにおけるあるシンボルが搬送されるチャネルの長区間特性 (Long Term Property) が他方のアンテナポートにおけるあるシンボルが搬送されるチャネルから推論されうるなら、2つのアンテナポートはQCLであるといわれる。チャネルの長区間特性は、遅延スプレッド、ドップラースプレッド、ドップラースhift、平均利得、及び平均遅延の1つまたは複数を含む。例えば、アンテナポート1とアンテナポート2が平均遅延に関してQCLである場合、アンテナポート1の受信タイミングからアンテナポート2の受信タイミングが推論されうることを意味する。

【0060】

このQCLは、ビームマネジメントにも拡張されうる。そのために、空間に拡張したQCLが新たに定義されてもよい。例えば、空間のQCL想定におけるチャネルの長区間特性 (Long term property) として、無線リンクあるいはチャネルにおける到来角 (AoA (Angle of Arrival), ZoA (Zenith angle of Arrival) など) および/または角度広がり (Angle Spread、例えばASA (Angle Spread of Arrival) やZSA (Zenith angle Spread of Arrival))、送出角 (AoD, ZoDなど) やその角度広がり (Angle Spread、例えばASD (Angle Spread of Departure) やZSD (Zenith angle Spread of Departure))、空間相関 (Spatial Correlation)、受信空間パラメータであってもよい。

【0061】

例えば、アンテナポート1とアンテナポート2の間で受信空間パラメータに関してQCLであるとみなせる場合、アンテナポート1からの信号を受信する受信ビーム (受信空間フィルタ) からアンテナポート2からの信号を受信する受信ビームが推論されうることを意味する。

【0062】

QCLタイプとして、QCLとみなしてよい長区間特性の組み合わせが定義されてよい。例えば、以下のタイプが定義されてよい。

- ・タイプA: ドップラースhift、ドップラースプレッド、平均遅延、遅延スプレッド
- ・タイプB: ドップラースhift、ドップラースプレッド
- ・タイプC: 平均遅延、ドップラースhift
- ・タイプD: 受信空間パラメータ

【0063】

上述のQCLタイプは、RRCおよび/またはMAC層および/またはDCIで1つまたは2つの参照信号とPDCCHやPDSCH DMRSとのQCL想定を送信設定指示 (TCI: Transmission Configuration Indication) として設定および/または指示し

10

20

30

40

50

てもよい。例えば、端末装置1がPDCCHを受信する際のTCIの1つの状態として、PBCH/SSブロックのインデックス#2とQCLタイプA+QCLタイプBが設定および/または指示された場合、端末装置1は、PDCCH DMRSを受信する際、PBCH/SSブロックインデックス#2の受信におけるドップラーシフト、ドップラーズプレッド、平均遅延、遅延ズプレッド、受信空間パラメータとチャネルの長区間特性とみなしてPDCCHのDMRSを受信して同期や伝搬路推定をしてもよい。このとき、TCIにより指示される参照信号(上述の例ではPBCH/SSブロック)をソース参照信号、ソース参照信号を受信する際のチャネルの長区間特性から推論される長区間特性の影響を受ける参照信号(上述の例ではPDCCH DMRS)をターゲット参照信号と称してよい。また、TCIは、RRCで複数のTCI状態と各状態に対してソース参照信号とQCLタイプの組み合わせが設定され、MAC層またはDCIにより端末装置1に指示されてよい。

10

【0064】

この方法により、ビームマネジメントおよびビーム指示/報告として、空間のQCL想定と無線リソース(時間および/または周波数)によりビームマネジメントと等価な基地局装置3、端末装置1の動作が定義されてもよい。

【0065】

以下、サブフレームについて説明する。本実施形態ではサブフレームと称するが、リソースユニット、無線フレーム、時間区間、時間間隔などと称されてもよい。

【0066】

図2は、本発明の第1の実施形態に係る下りリンクスロットの概略構成の一例を示す図である。無線フレームのそれぞれは、10ms長である。また、無線フレームのそれぞれは10個のサブフレームおよびW個のスロットから構成される。また、1スロットは、X個のOFDMシンボルで構成される。つまり、1サブフレームの長さは1msである。スロットのそれぞれは、サブキャリア間隔によって時間長が定義される。例えば、OFDMシンボルのサブキャリア間隔が15kHz、NCP(Normal Cyclic Prefix)の場合、X=7あるいはX=14であり、それぞれ0.5msおよび1msである。また、サブキャリア間隔が60kHzの場合は、X=7あるいはX=14であり、それぞれ0.125msおよび0.25msである。また、例えば、X=14の場合、サブキャリア間隔が15kHzの場合はW=10であり、サブキャリア間隔が60kHzの場合はW=40である。図2は、X=7の場合を一例として示している。なお、X=14の場合にも同様に拡張できる。また、上りリンクスロットも同様に定義され、下りリンクスロットと上りリンクスロットは別々に定義されてもよい。また、図2のセルの帯域幅は帯域の一部(BWP: BandWidth Part)として定義されてもよい。また、スロットは、送信時間間隔(TTI: Transmission Time Interval)と定義されてもよい。スロットは、TTIとして定義されなくてもよい。TTIは、トランスポートブロックの送信期間であってもよい。

20

30

【0067】

スロットのそれぞれにおいて送信される信号または物理チャネルは、リソースグリッドによって表現されてよい。リソースグリッドは、複数のサブキャリアと複数のOFDMシンボルによって定義される。1つのスロットを構成するサブキャリアの数は、セルの下りリンクおよび上りリンクの帯域幅にそれぞれ依存する。リソースグリッド内のエレメントのそれぞれをリソースエレメントと称する。リソースエレメントは、サブキャリアの番号とOFDMシンボルの番号とを用いて識別されてよい。

40

【0068】

リソースグリッドは、ある物理下りリンクチャネル(PDSCHなど)あるいは上りリンクチャネル(PUSCHなど)のリソースエレメントのマッピングを表現するために用いられる。例えば、サブキャリア間隔が15kHzの場合、サブフレームに含まれるOFDMシンボル数X=14で、NCPの場合には、1つの物理リソースブロックは、時間領域において14個の連続するOFDMシンボルと周波数領域において12*Nmax個の連続するサブキャリアとから定義される。Nmaxは、後述するサブキャリア間隔設定μ

50

により決定されるリソースブロックの最大数である。つまり、リソースグリッドは、 $(12 \times 12 \times N_{\max}, \mu)$ 個のリソースエレメントから構成される。ECP (Extended CP) の場合、サブキャリア間隔 60 kHz においてのみサポートされるので、1つの物理リソースブロックは、例えば、時間領域において $12 \times (1 \text{ スロットに含まれる OFDM シンボル数}) \times 4 \times (1 \text{ サブフレームに含まれるスロット数}) = 48$ 個の連続する OFDM シンボルと、周波数領域において $12 \times N_{\max}, \mu$ 個の連続するサブキャリアとにより定義される。つまり、リソースグリッドは、 $(48 \times 12 \times N_{\max}, \mu)$ 個のリソースエレメントから構成される。

【0069】

リソースブロックとして、参照リソースブロック、共通リソースブロック、物理リソースブロック、仮想リソースブロックが定義される。1リソースブロックは、周波数領域で連続する 12 サブキャリアとして定義される。参照リソースブロックは、全てのサブキャリアにおいて共通であり、例えば 15 kHz のサブキャリア間隔でリソースブロックを構成し、昇順に番号が付されてよい。参照リソースブロックインデックス 0 におけるサブキャリアインデックス 0 は、参照ポイント A と称されてよい（単に“参照ポイント”と称されてもよい）。共通リソースブロックは、参照ポイント A から各サブキャリア間隔設定 μ において 0 から昇順で番号が付されるリソースブロックである。上述のリソースグリッドはこの共通リソースブロックにより定義される。物理リソースブロックは、後述する帯域部分 (BWP) の中に含まれる 0 から昇順で番号が付されたリソースブロックであり、物理リソースブロックは、帯域部分 (BWP) の中に含まれる 0 から昇順で番号が付されたリソースブロックである。ある物理上りリンクチャンネルは、まず仮想リソースブロックにマップされる。その後、仮想リソースブロックは、物理リソースブロックにマップされる。（TS38.211より）

【0070】

次に、サブキャリア間隔設定 μ について説明する。上述のように NR では、複数の OFDM スケジューリングがサポートされる。ある BWP において、サブキャリア間隔設定 μ ($\mu = 0, 1, \dots, 5$) と、サイクリックプレフィックス長は、下りリンクの BWP に対して上位レイヤ（上位層）で与えられ、上りリンクの BWP において上位レイヤで与えられる。ここで、 μ が与えられると、サブキャリア間隔 Δf は、 $\Delta f = 2^{\mu} \cdot 15$ (kHz) で与えられる。

【0071】

サブキャリア間隔設定 μ において、スロットは、サブフレーム内で 0 から $N^{\text{subframe}, \mu}_{\text{slot}} - 1$ に昇順に数えられ、フレーム内で 0 から $N^{\text{frame}, \mu}_{\text{slot}} - 1$ に昇順に数えられる。スロット設定およびサイクリックプレフィックスに基づいて $N^{\text{slot}}_{\text{symb}}$ の連続する OFDM シンボルがスロット内にある。 $N^{\text{slot}}_{\text{symb}}$ は 14 である。サブフレーム内のスロット n^{μ}_{s} のスタートは、同じサブフレーム内の $n^{\mu}_{\text{s}} N^{\text{slot}}_{\text{symb}}$ 番目の OFDM シンボルのスタートと時間でアラインされている。

【0072】

次に、サブフレーム、スロット、ミニスロットについて説明する。図 3 は、サブフレーム、スロット、ミニスロットの時間領域における関係を示した図である。同図のように、3 種類の時間ユニットが定義される。サブフレームは、サブキャリア間隔によらず 1 ms であり、スロットに含まれる OFDM シンボル数は 7 または 14 であり、スロット長はサブキャリア間隔により異なる。ここで、サブキャリア間隔が 15 kHz の場合、1 サブフレームには 14 OFDM シンボル含まれる。下りリンクスロットは PDSCH マッピングタイプ A と称されてよい。上りリンクスロットは PUSCH マッピングタイプ A と称されてよい。

【0073】

ミニスロット（サブスロットと称されてもよい）は、スロットに含まれる OFDM シンボル数よりも少ない OFDM シンボルで構成される時間ユニットである。同図はミニスロットが 2 OFDM シンボルで構成される場合を一例として示している。ミニスロット内の

10

20

30

40

50

OFDMシンボルは、スロットを構成するOFDMシンボルタイミングに一致してもよい。なお、スケジューリングの最小単位はスロットまたはミニスロットでよい。また、ミニスロットを割り当てることを、ノンスロットベースのスケジューリングと称してもよい。また、ミニスロットをスケジューリングされることを参照信号とデータのスタート位置の相対的な時間位置が固定であるリソースがスケジュールされたと表現されてもよい。下りリンクミニスロットはPDSCHマッピングタイプBと称されてよい。上りリンクミニスロットはPUSCHマッピングタイプBと称されてよい。

【0074】

図4は、スロットフォーマットの一例を示す図である。ここでは、サブキャリア間隔15kHzにおいてスロット長が1msの場合を例として示している。同図において、Dは下りリンク、Uは上りリンクを示している。同図に示されるように、ある時間区間内（例えば、システムにおいて1つのUEに対して割り当てなければならない最小の時間区間）においては、

- ・下りリンクシンボル
- ・フレキシブルシンボル
- ・上りリンクシンボル

のうち1つまたは複数を含んでよい。なお、これらの割合はスロットフォーマットとして予め定められてもよい。また、スロット内に含まれる下りリンクのOFDMシンボル数またはスロット内のスタート位置および終了位置で定義されてもよい。また、スロット内に含まれる上りリンクのOFDMシンボルまたはDFTS-OFDMシンボル数またはスロット内のスタート位置および終了位置で定義されてよい。なお、スロットをスケジューリングされることを参照信号とスロット境界の相対的な時間位置が固定であるリソースがスケジュールされたと表現されてもよい。

【0075】

端末装置1は、下りリンクシンボルまたはフレキシブルシンボルで下りリンク信号または下りリンクチャネルを受信してよい。端末装置1は、上りリンクシンボルまたはフレキシブルシンボルで上りリンク信号または下りリンクチャネルを送信してよい。

【0076】

図4(a)は、ある時間区間（例えば、1UEに割当可能な時間リソースの最小単位、またはタイムユニットなどとも称されてよい。また、時間リソースの最小単位を複数束ねてタイムユニットと称されてもよい。）で、全て下りリンク送信に用いられている例であり、図4(b)は、最初の時間リソースで例えばPDCCHを介して上りリンクのスケジューリングを行い、PDCCHの処理遅延及び下りから上りの切り替え時間、送信信号の生成を含むフレキシブルシンボルを介して上りリンク信号を送信する。図4(c)は、最初の時間リソースでPDCCHおよび／または下りリンクのPDSCHの送信に用いられ、処理遅延及び下りから上りの切り替え時間、送信信号の生成のためのギャップを介してPUSCHまたはPUCCHの送信に用いられる。ここで、一例としては、上りリンク信号はHARQ-ACKおよび／またはCSI、すなわちUCIの送信に用いられてよい。図4(d)は、最初の時間リソースでPDCCHおよび／またはPDSCHの送信に用いられ、処理遅延及び下りから上りの切り替え時間、送信信号の生成のためのギャップを介して上りリンクのPUSCHおよび／またはPUCCHの送信に用いられる。ここで、一例としては、上りリンク信号は上りリンクデータ、すなわちUL-SCHの送信に用いられてもよい。図4(e)は、全て上りリンク送信（PUSCHまたはPUCCH）に用いられている例である。

【0077】

上述の下りリンクパート、上りリンクパートは、LTEと同様複数のOFDMシンボルで構成されてよい。

【0078】

図5は、ビームフォーミングの一例を示した図である。複数のアンテナエレメントは1つの送信ユニット（TXRU: Transceiver unit）10に接続され、アンテナエレメント毎の

10

20

30

40

50

位相シフタ 1 1 によって位相を制御し、アンテナエレメント 1 2 から送信することで送信信号に対して任意の方向にビームを向けることができる。典型的には、T X R U がアンテナポートとして定義されてよく、端末装置 1 においてはアンテナポートのみが定義されてよい。位相シフタ 1 1 を制御することで任意の方向に指向性を向けることができるため、基地局装置 3 は端末装置 1 に対して利得の高いビームを用いて通信することができる。

【0079】

以下、帯域部分 (BWP) について説明する。BWP は、キャリア BWP とも称される。BWP は、下りリンクと上りリンクのそれぞれに設定されてよい。BWP は、共通リソースブロックの連続するサブセットから選択された連続する物理リソースの集合として定義される。端末装置 1 は、ある時間に 1 つの下りリンクキャリア BWP が活性化される 4 つまでの BWP を設定されうる。端末装置 1 は、ある時間に 1 つの上りリンクキャリア BWP が活性化される 4 つまでの BWP を設定されうる。キャリアアグリゲーションの場合には、BWP は各サービングセルで設定されてもよい。このとき、あるサービングセルにおいて BWP が 1 つ設定されていることを、BWP が設定されていないと表現されてもよい。また、BWP が 2 つ以上設定されていることを BWP が設定されていると表現されてもよい。

【0080】

活性化されたサービングセルにおいて、常に一つのアクティブな (活性化された) BWP がある。あるサービングセルに対する BWP 切り替え (BWP switching) は、インアクティブな (非活性化された) BWP を活性化 (activate) し、アクティブな (活性化された) BWP を非活性化 (deactivate) するために使用される。あるサービングセルに対する BWP 切り替え (BWP switching) は、下りリンク割り当てまたは上りリンクグラントを示す P D C C H によって制御される。S p C e l l (PCell または PSCell) の追加または、S Cell の活性化において、一つの BWP が、下りリンク割り当てまたは上りリンクグラントを示す P D C C H を受信することなしに初期的にアクティブである。初期的にアクティブな BWP は、基地局装置 3 から端末装置 1 に送られる R R C メッセージで指定されるかもしれない。あるサービングセルに対するアクティブな BWP は、基地局装置 3 から端末装置 1 に送られる R R C または P D C C H で指定される。アンペアードスペクトラム (Unpaired spectrum) (T D D バンドなど) では、D L BWP と U L BWP はペアされていて、BWP 切り替えは、U L と D L に対して共通である。BWP が設定されているアクティベートされたサービングセルのそれぞれに対する、アクティブな BWP において、端末装置 1 の M A C エンティティは、ノーマル処理を適用する。ノーマル処理には、U L - S C H を送信する、R A C H を送信する、P D C C H をモニタする、P U C C H を送信する、および D L - S C H を受信することを含む。BWP が設定されているアクティベートされたサービングセルのそれぞれに対する、インアクティブな BWP において、端末装置 1 の M A C エンティティは、U L - S C H を送信しない、R A C H を送信しない、P D C C H をモニタしない、P U C C H を送信しない、および D L - S C H を受信しない。あるサービングセルが非活性化された場合、アクティブな BWP は、存在しないようにしてもよい (例えば、アクティブな BWP は非活性化される)。

【0081】

端末装置 1 は、1 つのプライマリセルと 1 5 までのセカンダリセルが設定されてよい。

【0082】

端末装置 1 により使用される C S I を報告する時間及び周波数リソースは、基地局装置 3 により制御される。C S I は、C Q I (Channel Quality Indicator)、P M I (Precoding Matrix Indicator)、C R I (CSI-RS Resource Indicator)、S L I (Strongest Layer Indication)、R I (rank indication) および/または L 1 - R S R P (Layer-1 Reference Signal Received Power) を含む。C Q I、P M I、C R I、S L I、R I、L 1 - R S R P のために、端末装置 1 は、N (N は 1 以上) の C S I 報告に関する設定、M (M は 1 以上) の C S I 参照信号 (C S I - R S) のリソースに関する設定、L (L は 1 以上) のリンクを含む 1 つの C S I 測定に関する設定を上位レイヤにより設定される。

C S I 測定に関する設定は、C S I 報告に関する設定のリストと、C S I リソースに関する設定のリストと、リンクの設定のリストと、トリガ状態のリストを含む。以下、それぞれについて説明する。

【0083】

C S I 報告に関する設定の各々は、1つの下りリンクのBWP（上位レイヤのBWPアイデンティティ）に関連付けられ、C S I 報告に関する設定の各々は、報告されるパラメータは以下のものを含む。

- ・C S I 報告に関する設定を識別するための1つのアイデンティティ
- ・時間領域の動作（例えば、周期的（periodic）、セミパースistent、または非周期（Aperiodic））
- ・報告されるC S I パラメータ（例えば、C R I、R I、P M I、C Q I など）
- ・周波数領域の設定（広帯域C Q I またはサブバンドC Q I を設定する情報、広帯域P M I またはサブバンドP M I を設定する情報がそれぞれ含まれる）
- ・C S I 測定の制限の設定（measurement restriction configuration、チャネル測定と干渉測定のそれぞれに対して設定されてよい）
- ・コードブック設定（C S I のタイプ（タイプ1かタイプ2かを示す情報）とコードブックサブセット制限の設定）
- ・1報告あたりのC Q I の最大数（1コードワードか2コードワードかを示す情報であってよい）
- ・C Q I テーブルの想定（64QAMまでを含むC Q I テーブル、256QAMまでを含むC Q I テーブル、U R L L C など）

【0084】

C S I リソースに関する設定の各々は、S（Sは1以上）のC S I－R S リソースセットに関する情報を含み、各C S I－R S リソースセットは、複数のC S I－R S リソース（チャネル測定または干渉測定のためのN Z P C S I－R S と、干渉測定のためのC S I－I M（Interference Measurement）リソース）と、L1－R S R P 計算のために使用されるS S／P B C H ブロックのリソースに関する設定を含む。ここで、N Z P C S I－R S リソースとは、予め仕様で定義された生成方法に従って系列が生成され、C S I－R S がマッピングされるリソースエレメントにマップされるC S I－R S である。また、C S I リソースに関する設定の各々は、上位レイヤで識別された（identified）BWPに置かれ、1つのC S I 報告に関する設定に紐づけられたすべてのC S I リソースに関する設定は、同じBWPである。

【0085】

次に、上述のチャネル測定と干渉測定について説明する。チャネル測定は、C S I 測定のために下りリンクの所望信号またはチャネルまたは空間多重を想定した場合の各レイヤまたは各コードワードの品質に関する量を測定することであり、干渉測定は、C S I 測定のために下りリンクの干渉信号またはチャネルまたは空間多重を想定した場合の各レイヤまたはコードワードにおける干渉の量を測定することである。ここでレイヤとは、空間多重されるP D S C H の数である。

【0086】

なお、L1－R S R P 計算のために使用されるS S／P B C H ブロックのリソースに関する設定（ssb-Resources）は、C S I リソースに関する設定の各々に含まれてもよい。

【0087】

また、C S I リソースに関する設定の各々に、C S I－R S リソースの時間領域の動作が含まれてよい。また、各C S I－R S リソースセットに関する設定に、C S I－R S リソースの時間領域の動作が含まれてもよい。

【0088】

各リンクの設定は、C S I 報告に関する設定のインディケーションと、C S I 設定のインディケーションと、チャネル測定か干渉測定のどちらを測定するかを示すインディケーションを含む。また、各リンクの設定は、1つまたは複数の非周期的なC S I 報告のための

C S I 報告に関する設定を動的に選択するための複数のトリガ状態を含んでよい。

【0089】

各トリガ状態は、1つまたは複数のC S I 報告に関する設定に関連付けられ、各C S I 報告に関する設定は、1つまたは複数の周期的またはセミパースistentまたは非周期のC S I 参照信号に関する設定に紐づけられている。ここで、紐づけられたC S I リソースに関する設定の数により端末装置は下記を想定してよい。

- ・1つのC S I リソースに関する設定が設定された場合、そのリソース設定はL 1－R S R P 計算のためのチャネル測定のためである
- ・2つのC S I リソースに関する設定が設定された場合、1つめのC S I リソースに関する設定はチャネル測定のためであり、2つめのC S I リソースに関する設定は、C S I－I MまたはN Z P C S I－R S リソース上での干渉測定のためである。
- ・3つのC S I リソースに関する設定が設定された場合、1つめのC S I リソースに関する設定はチャネル測定のためであり、2つめのC S I リソースに関する設定は、C S I－I Mリソース上での干渉測定のためであり、3つめのC S I リソースに関する設定はN Z P C S I－R S リソース上での干渉測定のためである。

【0090】

C S I 測定のために、端末装置1は、下記を想定してよい。

- ・干渉測定のために設定された各N Z P C S I－R S ポートは干渉の送信レイヤに対応すること、
- ・N Z P C S I－R S ポート上のすべての干渉の送信レイヤが、関連付けられたE P R E (Energy per resource element) が考慮されていること、および
- ・チャネル測定のためのN Z P C S I－R S リソース、または干渉測定のためのC S I－R S リソース、または干渉測定のためのC S I－I Mリソース上に他の干渉信号があること

【0091】

ここで、E P R E は、リソースエレメントあたりのN Z P C S I－R S のエネルギーを表す。具体的には、基地局装置3は、N Z P C S I－R S のE P R E に対するP D S C H E P R E の比 (P_c)、N Z P C S I－R S のE P R E に対するP D C C H E P R E の比 ($P_c - P D C C H$)、N Z P C S I－R S のE P R E に対するS S / P B C H ブロックのE P R E の比 ($P_c - S S$) がそれぞれ設定される。これにより、C S I－R S E P R E を設定されたエネルギーの比からC S I 測定にE P R E を考慮することができる。

【0092】

C S I－R S リソースセットの時間領域の動作が非周期であるC S I－R S リソースセットのために、1つまたは複数のコンポーネントキャリアでのチャネル測定および／または干渉測定のための1つまたは複数のC S I 報告に関する設定および／または1つまたは複数のC S I－R S リソースセットのためのトリガ状態が上位レイヤで設定される。非周期のC S I 報告のトリガのために、1つのC S I トリガ状態のセットが上位レイヤのパラメータで設定され、C S I トリガ状態は、D L B W P のいずれか1つの候補に関連付けられる。端末装置1は、活性化されていない下りリンクB W P のためのC S I 報告をトリガされることを期待しない。各トリガ状態は、D C I (例えば、D C I フォーマット0_1) に含まれるC S I リクエストフィールドを用いて開始される。

【0093】

このとき、端末装置は、下記の動作を行う。

- ・C S I リクエストフィールドの値が0の場合、C S I はリクエストされない
- ・C S I トリガ状態の数が $2^{N_{TS}} - 1$ より大きい場合は、端末装置1はC S I リクエストフィールドのコードポイントに $2^{N_{TS}} - 1$ トリガ状態までマップするために使われる選択コマンドをM A C 層から受信する。ただし、 N_{TS} は、上位レイヤで設定されるC S I リクエストフィールドのビットサイズである。 N_{TS} は、 $\{0, 1, 2, 3, 4, 5, 6\}$ の中からいずれかの値が設定されてよい。

10

20

30

40

50

・ C S I トリガ状態の数が $2^{N_{TS}} - 1$ より小さいまたは等しい場合、C S I リクエストフィールドは直接トリガ状態と端末装置 1 の Q C L 想定を指示する。

・ 各 C S I トリガ状態に関連付けられた非周期の C S I - R S リソースのために、端末装置 1 は Q C L のソース参照信号と Q C L タイプの Q C L 設定が上位レイヤより指示される（例えば、T C I を用いてもよい）。

【0094】

ここで、 N_{TS} は D C I の C S I リクエストフィールドのビット数であり、R R C で設定される非周期の C S I 報告のためのトリガの状態の数 (N_{CSI}) は、 $2^{N_{TS}} - 1$ よりも大きくても小さくても等しくてもよい。

【0095】

もし、1つの C S I 報告に関する設定に紐づけられた C S I リソースに関する設定が、複数の非周期な C S I - R S リソースセットに関する設定を持ち、非周期な C S I - R S リソースセットの一部のみがあるトリガ状態に関連付けられている場合、各 C S I - R S リソースセット毎にトリガ状態ごとに C S I - I M リソースまたは N Z P C S I - R S リソースセットを選択するためにビットマップが上位レイヤで設定される。

【0096】

上述の設定について説明する。セル毎に端末装置 1 に設定される情報（例えば、ServingCellConfigDedicated）に、C S I 測定に関する情報が含まれてよい。即ち、C S I 測定に関する情報は、セル毎に設定され、各セルの C S I 測定に関する情報は下記の情報を含む。

- ・ N 個の C S I 報告に関する設定のリスト
- ・ M 個の C S I 参照信号に関する設定のリスト
- ・ L 個の C S I 報告に関する設定と C S I 参照信号に関する設定の間のリンクのリスト（csi-MeasIdToAddModList）
- ・ C S I 報告のトリガに関する情報（C S I リクエストフィールドのビット数 N_{TS} および／または C S I リクエストフィールドの値に対応するトリガ状態）

【0097】

各 C S I 報告に関する設定には、C S I 報告に関する設定のインデックスまたはアイデンティティ、時間領域の動作を設定する情報、どの C S I を報告するかを設定する情報を含む。また、1つの B W P を識別するための B W P インデックスを含んでもよい。

【0098】

時間領域の動作を設定する情報が周期的またはセミパースistentを示す場合には、C S I を報告する周期（スロット数）が含まれてよい。時間領域の動作を設定する情報が非周期（Aperiodic）を示す場合、非周期 C S I 報告がトリガされたスロットから C S I 報告を送信するまでのスロット数のオフセットに関する情報を含んでよい。また、時間領域の動作を設定する情報が非周期（Aperiodic）を示す場合、各 C S I 報告に関する設定が C S I 報告のトリガ状態のインデックスを含んでよい。

【0099】

各リンクに関する設定は、リンクされる C S I 報告に関する設定のインデックスまたはアイデンティティと C S I 参照信号に関する設定のインデックスまたはアイデンティティ、リンクのアイデンティティを含んでもよい。

【0100】

図 6 は、あるサービングセル c における C S I 測定に関する R R C の設定および C S I リクエストフィールドの一例を示している。ここでは、R R C で設定されるトリガ状態の数 $N_{CSI} = 3$ 、C S I リクエストフィールドのビット数 $N_{TS} = 2$ として説明する。なお、ここではサービングセルに設定されている B W P の数が 2 であるとしている。図 6 に示されるように、サービングセル c の C S I 測定に関する情報に、C S I 報告に関する設定のリストが設定されており、リスト内に、C S I 報告に関する設定が 4 つ設定されている。そのうち、非周期な C S I 報告の設定は、C S I 報告に関する設定 # 1 ~ # 3 である。

。

10

20

30

40

50

【0101】

C S I 報告に関する設定 # 1 は、トリガ状態 # 0 に関連付けられ、C S I 報告に関する設定 # 2 は、トリガ状態 # 1 に関連付けられ、C S I 報告に関する設定 # 3 は、トリガ状態 # 2 に関連付けられている。この場合、 $N_{C S I} = 2^{N_{T S}} - 1$ なので、D C I フォーマットに含まれる 2 ビットの C S I リクエストフィールドに直接マップされる。図 6 に示されるように、C S I リクエストフィールドの “00” は C S I 報告を送信しない。“01” にトリガ状態 # 0、“10” にトリガ状態 # 1、“11” にトリガ状態 # 2 がそれぞれ関連付けられている。

【0102】

端末装置 1 は、R R C で設定された C S I 報告に関する設定と、D C I に含まれる C S I リクエストフィールドの値に基づいて関連付けられた C S I 報告に関する設定に基づいて、C S I を P U S C H で報告する。このとき、端末装置 1 は、C S I 報告に関する設定に関連付けられた C S I リソースに関する設定から C S I を測定する C S I - R S リソースセットまたは C S I - R S リソースから、C S I 報告に関する設定に含まれる報告される C S I パラメータに基づいて C S I を測定する。

【0103】

また、各 C S I 報告に関する設定は、サービングセル内の B W P と関連付けられている。図 6 において、トリガ状態 # 1 およびトリガ状態 # 2 は、B W P インデックス # 0 と B W P インデックス # 1 にそれぞれ関連付けられている。つまり、端末装置 1 は、C S I リクエストフィールドの値として 10 が指示された場合には、B W P # 1 における C S I を報告する。すなわち、C S I リクエストフィールドの値（情報）は複数のトリガ状態のうちの 1 つを示し、複数のトリガ状態の各々は、サービングセルごとに設定され、1 つまたは複数の C S I 報告の設定、および 1 つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定に関連付けられる。なお、C S I リクエストフィールドの値は C S I リクエストフィールドに含まれる情報と換言されてもよい。

【0104】

ここで、トリガ状態 # 0 の B W P インデックスとして、設定された B W P の実際のインデックスではなく “active” が設定されている。これは、活性化された B W P と関連付けられていることを意味する。例えば、端末装置 1 に対して、あるスロットにおいて B W P インデックス # 0 を示す B W P が活性化されている場合、C S I リクエストフィールド “01” は活性化されている B W P インデックス # 0 に対応する B W P で C S I を測定し、C S I を報告する。一方、あるスロットにおいて B W P インデックス # 1 に対応する B W P が活性化されている場合、C S I リクエストフィールド “01” は活性化されている B W P インデックス # 1 に対応する B W P で C S I を測定し、C S I を報告する。すなわち、P D C C H の D C I に含まれる C S I リクエストフィールドは、トリガ状態を含み、各トリガ状態は 1 つまたは複数の C S I 報告に関する設定および 1 つまたは複数の C S I リソースに関する設定に関連付けられ、複数のトリガ状態のうち 1 つの状態は、サービングセル c の活性化された B W P と関連付けられるように設定される。

【0105】

図 7 に、あるサービングセルにおける R R C で設定されるトリガ状態の数 $N_{C S I} = 4$ 、C S I リクエストフィールドのビット数 $N_{T S} = 2$ とする場合の設定および C S I リクエストフィールドの例を示す。図 7 の例も図 6 と同様に時間動作が非周期である C S I 報告に関する設定の各々は、B W P インデックスおよびトリガ状態が関連付けられている。

【0106】

図 7 の例では、 $N_{C S I} > 2^{N_{T S}} - 1$ なので、M A C 層を介して C S I リクエストフィールドの各コードポイント “01”、“10”、“11” のためのトリガ状態が選択される。図 7 に示されるように、R R C で設定された 4 つのトリガ状態に対して、各コードポイントのために各トリガ状態を示すビットマップを用いて 1 つまたは複数のトリガ状態を選択してよい。図 7 の例では、コードポイント “01” に対して各トリガ状態の選択のための 4 ビットのビットマップ “1000” が端末装置 1 に指示され、C S I リクエ

10

20

30

40

50

トフィールド“01”に対応するようにマップされる。これは、CSIリクエストフィールドのコードポイント“01”にトリガ状態#0となることを意味している。このようにMAC層では各トリガ状態に対応するビットマップにより各コードポイントが選択される。すなわち、PDCCHのDCIに含まれるCSIリクエストフィールドは、トリガ状態を含み、各トリガ状態は1つまたは複数のCSI報告に関する設定および1つまたは複数のCSIリソースに関する設定に関連付けられる。CSIリクエストフィールドに関連付けられるトリガ状態は、MAC層においてビットマップを用いて複数のトリガ状態から1つまたは複数選択され、CSIリクエストフィールドの各コードポイントにマップされる。

【0107】

図8は、2つのサービングセルが設定された場合の例を示す。ここでは、サービングセル数として2つが設定され、各セルで、非周期のCSI報告に関する設定にトリガ状態が割り当てられる例を示している。同図のように、CSIリクエストフィールドには複数のCSI報告に関する設定が関連付けられる。例えば、サービングセル#1のトリガ状態#1と、サービングセル#2のトリガ状態#1がコードポイント“01”に設定されている。

【0108】

ここで、あるスロットにおいて、端末装置1に対してCSIリクエストフィールドの値として“10”が指示された場合、端末装置1はサービングセル#1のBWP#0のCSIと、サービングセル#2のBWP#0のCSIを報告する。このとき、サービングセル#1のBWP#0とサービングセル#2のBWP#0がともに活性化されている場合、端末装置1はサービングセル#1のBWP#0とサービングセル#2のBWP#0のCSIを報告する。

【0109】

また、サービングセル#1のBWP#0が活性化されており、サービングセル#2のBWP#0が活性化されていない場合、端末装置1はサービングセル#1のBWP#0のCSIを報告する。このように、複数のサービングセルが設定され、CSIリクエストフィールドの値により指示された各サービングセルのCSI報告をする。すなわち、端末装置1は、CSIリクエストフィールドを含むDCIを運ぶPDCCHを受信し、CSIリクエストフィールドに基づいて複数のサービングセルにおけるBWPのCSI報告がトリガされた場合に、活性化されているBWPインデックスが示すBWPのみのCSI報告を送信する。このとき、CSIリクエストフィールドはトリガ状態を示し、トリガ状態は、複数の状態のうち1つを示す。複数の状態の各々の状態は、サービングセル毎に設定され、1つまたは複数のCSI報告に関する設定および1つまたは複数のCSIリソースに関する設定および各サービングセルにおけるBWPインデックスに関連付けられる。

【0110】

ここで、上述の例ではCSIリクエストフィールドの1つの値に、1つのCSI報告に関する設定が設定されたが、複数のCSI報告が関連付けられるようにしてもよい。

【0111】

上述の例では、各サービングセルのCSI報告に関する設定がBWPインデックスに関する設定に常に関連付けられている場合を示したが、BWPが1つの場合には関連付ける情報が設定されなくてよい。この場合、サービングセルの帯域幅に基づいてCSI測定及びCSI報告を行ってよい。

【0112】

また、上述ではBWPが活性化されているか否かに基づいてCSI報告を送信する例を記載したが、サービングセルが非活性化されている場合も、そのサービングセルにおけるCSI報告を送信せず、活性化されたサービングセルおよび／または活性化されたBWPのみのCSIを報告してもよい。

【0113】

また、上述の例ではCSI報告に関する設定にトリガ状態のインデックスを示す情報を

10

20

30

40

50

含んだが、C S I 測定に関する設定がトリガ状態のリストを含み、各トリガ状態がどの C S I 報告に関する設定を含むかが設定されてもよい。

【0114】

すなわち、本発明では、端末装置 1 は、活性化されたサービングセルの C S I のみを報告してもよい。また、端末装置 1 は、BWP が設定されており、活性化されているセルの場合は、活性化された BWP の C S I のみを報告してもよい。また、端末装置 1 は、非活性化されたサービングセルの C S I を報告しなくてよい。非活性化されている BWP の C S I を報告しなくてよい。また、C S I 報告に関する設定に含まれる BWP インデックスはサービングセルごとに設定されてよく、BWP の特定にサービングセルインデックスと BWP インデックスを用いてよい。

10

【0115】

本実施形態の一態様は、L T E や L T E - A / L T E - A P r o と いう 無線アクセス技術 (RAT: Radio Access Technology) とのキャリアアグリゲーションまたはデュアルコネクティビティにおいてオペレーションされてもよい。このとき、一部またはすべてのセルまたはセルグループ、キャリアまたはキャリアグループ (例えば、プライマリセル (PCell: Primary Cell)、セカンダリセル (SCell: Secondary Cell)、プライマリセカンダリセル (PSCell)、M C G (Master Cell Group)、S C G (Secondary Cell Group) など) で用いられてもよい。また、単独でオペレーションするスタンドアローンで用いられてもよい。デュアルコネクティビティオペレーションにおいては、S p C e l l (Special Cell) は、M A C エンティティが M C G に関連付けられているか、S C G に関連付けられているかに応じて、それぞれ、M C G の PCell または、SCG の PSCell と称する。デュアルコネクティビティオペレーションでなければ、S p C e l l (Special Cell) は、PCell と称する。S p C e l l (Special Cell) は、P U C C H 送信と、競合ベースランダムアクセスをサポートする。

20

【0116】

以下、本実施形態における装置の構成について説明する。ここでは、下りリンクの無線伝送方式として、C P - O F D M、上りリンクの無線伝送方式として C P - O F D M または D F T S - O F D M (S C - F D M) を適用する場合の例を示している。

【0117】

図 9 は、本実施形態の端末装置 1 の構成を示す概略ブロック図である。図示するように、端末装置 1 は、上位層処理部 101、制御部 103、受信部 105、送信部 107 と送受信アンテナ 109 を含んで構成される。また、上位層処理部 101 は、無線リソース制御部 1011、スケジューリング情報解釈部 1013、および、チャネル状態情報 (C S I) 報告制御部 1015 を含んで構成される。また、受信部 105 は、復号化部 1051、復調部 1053、多重分離部 1055、無線受信部 1057 と測定部 1059 を含んで構成される。また、送信部 107 は、符号化部 1071、変調部 1073、多重部 1075、無線送信部 1077 と上りリンク参照信号生成部 1079 を含んで構成される。

30

【0118】

上位層処理部 101 は、ユーザの操作等により生成された上りリンクデータ (トランスポートブロック) を、送信部 107 に出力する。また、上位層処理部 101 は、媒体アクセス制御 (MAC: Medium Access Control) 層、パケットデータ統合プロトコル (Packet Data Convergence Protocol: PDCP) 層、無線リンク制御 (Radio Link Control: RLC) 層、無線リソース制御 (Radio Resource Control: RRC) 層の処理を行う。

40

【0119】

上位層処理部 101 が備える無線リソース制御部 1011 は、自装置の各種設定情報の管理をする。また、無線リソース制御部 1011 は、上りリンクの各チャネルに配置される情報を生成し、送信部 107 に出力する。

【0120】

上位層処理部 101 が備えるスケジューリング情報解釈部 1013 は、受信部 105 を介して受信した D C I (スケジューリング情報) の解釈をし、前記 D C I を解釈した結果

50

に基づき、受信部 105、および送信部 107 の制御を行うために制御情報を生成し、制御部 103 に出力する。

【0121】

C S I 報告制御部 1015 は、測定部 1059 に、C S I 参照リソースに関連するチャネル状態情報 (R I / P M I / C Q I / C R I) を導き出すよう指示する。C S I 報告制御部 1015 は、送信部 107 に、R I / P M I / C Q I / C R I を送信するよう指示をする。C S I 報告制御部 1015 は、測定部 1059 が C Q I を算出する際に用いる設定をセットする。

【0122】

制御部 103 は、上位層処理部 101 からの制御情報に基づいて、受信部 105、および送信部 107 の制御を行う制御信号を生成する。制御部 103 は、生成した制御信号を受信部 105、および送信部 107 に出力して受信部 105、および送信部 107 の制御を行う。

【0123】

受信部 105 は、制御部 103 から入力された制御信号に従って、送受信アンテナ 109 を介して基地局装置 3 から受信した受信信号を、分離、復調、復号し、復号した情報を上位層処理部 101 に出力する。

【0124】

無線受信部 1057 は、送受信アンテナ 109 を介して受信した下りリンクの信号を、中間周波数に変換し (ダウンコンバート: down covert)、不要な周波数成分を除去し、信号レベルが適切に維持されるように増幅レベルを制御し、受信した信号の同相成分および直交成分に基づいて、直交復調し、直交復調されたアナログ信号をデジタル信号に変換する。無線受信部 1057 は、変換したデジタル信号からガードインターバル (Guard Interval: GI) に相当する部分を除去し、ガードインターバルを除去した信号に対して高速フーリエ変換 (Fast Fourier Transform: FFT) を行い、周波数領域の信号を抽出する。

【0125】

多重分離部 1055 は、抽出した信号を下りリンクの P D C C H、P D S C H、および下りリンク参照信号に、それぞれ分離する。また、多重分離部 1055 は、測定部 1059 から入力された伝搬路の推定値から、P D C C H および P U S C H の伝搬路の補償を行う。また、多重分離部 1055 は、分離した下りリンク参照信号を測定部 1059 に出力する。

【0126】

復調部 1053 は、下りリンクの P D C C H に対して、復調を行い、復号化部 1051 へ出力する。復号化部 1051 は、P D C C H の復号を試み、復号に成功した場合、復号した下りリンク制御情報と下りリンク制御情報が対応する R N T I とを上位層処理部 101 に出力する。

【0127】

復調部 1053 は、P D S C H に対して、Q P S K (Quadrature Phase Shift Keying)、16 Q A M (Quadrature Amplitude Modulation)、64 Q A M、256 Q A M 等の下りリンクグラントで通知された変調方式の復調を行い、復号化部 1051 へ出力する。復号化部 1051 は、下りリンク制御情報で通知された伝送または原符号化率に関する情報に基づいて復号を行い、復号した下りリンクデータ (トランスポートブロック) を上位層処理部 101 へ出力する。

【0128】

測定部 1059 は、多重分離部 1055 から入力された下りリンク参照信号から、下りリンクのパスロスの測定、チャネル測定、および／または、干渉測定を行う。測定部 1059 は、測定結果に基づいて算出した C S I、および、測定結果を上位層処理部 101 へ出力する。また、測定部 1059 は、下りリンク参照信号から下りリンクの伝搬路の推定値を算出し、多重分離部 1055 へ出力する。

10

20

30

40

50

【0129】

送信部107は、制御部103から入力された制御信号に従って、上りリンク参照信号を生成し、上位層処理部101から入力された上りリンクデータ（トランスポートブロック）を符号化および変調し、PUSCH、PUSCH、および生成した上りリンク参照信号を多重し、送受信アンテナ109を介して基地局装置3に送信する。

【0130】

符号化部1071は、上位層処理部101から入力された上りリンク制御情報、および、上りリンクデータを符号化する。変調部1073は、符号化部1071から入力された符号化ビットをBPSK、QPSK、16QAM、64QAM、256QAM等の変調方式で変調する。

10

【0131】

上りリンク参照信号生成部1079は、基地局装置3を識別するための物理セル識別子（physical cell identity: PCI、Cell IDなどと称する。）、上りリンク参照信号を配置する帯域幅、上りリンクグラントで通知されたサイクリックシフト、DMRSシーケンスの生成に対するパラメータの値などを基に、予め定められた規則（式）で求まる系列を生成する。

【0132】

多重部1075は、PUSCHのスケジューリングに用いられる情報に基づき、空間多重されるPUSCHのレイヤの数を決定し、MIMO空間多重（MIMO SM: Multiple Input Multiple Output Spatial Multiplexing）を用いることにより同一のPUSCHで送信される複数の上りリンクデータを、複数のレイヤにマッピングし、このレイヤに対してプレコーディング（precoding）を行う。

20

【0133】

多重部1075は、制御部103から入力された制御信号に従って、PUSCHの変調シンボルを離散フーリエ変換（Discrete Fourier Transform: DFT）する。また、多重部1075は、PUSCHおよび／またはPUSCHの信号と生成した上りリンク参照信号を送信アンテナポート毎に多重する。つまり、多重部1075は、PUSCHおよび／またはPUSCHの信号と生成した上りリンク参照信号を送信アンテナポート毎にリソースエレメントに配置する。

【0134】

30

無線送信部1077は、多重された信号を逆高速フーリエ変換（Inverse Fast Fourier Transform: IFFT）して、SC-FDM方式の変調を行い、SC-FDM変調されたSC-FDMシンボルにガードインターバルを付加し、ベースバンドのデジタル信号を生成し、ベースバンドのデジタル信号をアナログ信号に変換し、アナログ信号から中間周波数の同相成分および直交成分を生成し、中間周波数帯域に対する余分な周波数成分を除去し、中間周波数の信号を高周波数の信号に変換（アップコンバート: up convert）し、余分な周波数成分を除去し、電力増幅し、送受信アンテナ109に出力して送信する。

【0135】

図10は、本実施形態の基地局装置3の構成を示す概略ブロック図である。図示するように、基地局装置3は、上位層処理部301、制御部303、受信部305、送信部307、および、送受信アンテナ309、を含んで構成される。また、上位層処理部301は、無線リソース制御部3011、スケジューリング部3013、および、CSI報告制御部3015を含んで構成される。また、受信部305は、復号化部3051、復調部3053、多重分離部3055、無線受信部3057と測定部3059を含んで構成される。また、送信部307は、符号化部3071、変調部3073、多重部3075、無線送信部3077と下りリンク参照信号生成部3079を含んで構成される。

40

【0136】

上位層処理部301は、媒体アクセス制御（MAC: Medium Access Control）層、パケットデータ統合プロトコル（Packet Data Convergence Protocol: PDCP）層、無線リンク制御（Radio Link Control: RLC）層、無線リソース制御（Radio Resource Control: RRC）

50

層の処理を行う。また、上位層処理部 301 は、受信部 305、および送信部 307 の制御を行うために制御情報を生成し、制御部 303 に出力する。

【0137】

上位層処理部 301 が備える無線リソース制御部 3011 は、下りリンクの PDSCH に配置される下りリンクデータ（トランスポートブロック）、システムインフォメーション、RRC メッセージ、MAC CE（Control Element）などを生成し、又は上位ノードから取得し、送信部 307 に出力する。また、無線リソース制御部 3011 は、端末装置 1 各々の各種設定情報の管理をする。

【0138】

上位層処理部 301 が備えるスケジューリング部 3013 は、受信した CSI および測定部 3059 から入力された伝搬路の推定値やチャンネルの品質などから、物理チャンネル（PDSCH または PUSCH）を割り当てる周波数およびサブフレーム、物理チャンネル（PDSCH または PUSCH）の伝送符号化率および変調方式および送信電力などを決定する。スケジューリング部 3013 は、スケジューリング結果に基づき、受信部 305、および送信部 307 の制御を行うために制御情報を生成し、制御部 303 に出力する。スケジューリング部 3013 は、スケジューリング結果に基づき、物理チャンネル（PDSCH または PUSCH）のスケジューリングに用いられる情報（例えば、DCI（フォーマット））を生成する。

【0139】

上位層処理部 301 が備える CSI 報告制御部 3015 は、端末装置 1 の CSI 報告を制御する。CSI 報告制御部 3015 は、端末装置 1 が CSI 参照リソースにおいて RI / PMI / CQI を導き出すために想定する、各種設定を示す情報を、送信部 307 を介して、端末装置 1 に送信する。

【0140】

制御部 303 は、上位層処理部 301 からの制御情報に基づいて、受信部 305、および送信部 307 の制御を行う制御信号を生成する。制御部 303 は、生成した制御信号を受信部 305、および送信部 307 に出力して受信部 305、および送信部 307 の制御を行う。

【0141】

受信部 305 は、制御部 303 から入力された制御信号に従って、送受信アンテナ 309 を介して端末装置 1 から受信した受信信号を分離、復調、復号し、復号した情報を上位層処理部 301 に出力する。無線受信部 3057 は、送受信アンテナ 309 を介して受信された上りリンクの信号を、中間周波数に変換し（ダウンコンバート：down covert）、不要な周波数成分を除去し、信号レベルが適切に維持されるように増幅レベルを制御し、受信された信号の同相成分および直交成分に基づいて、直交復調し、直交復調されたアナログ信号をディジタル信号に変換する。

【0142】

無線受信部 3057 は、変換したディジタル信号からガードインターバル（Guard Interval: GI）に相当する部分を除去する。無線受信部 3057 は、ガードインターバルを除去した信号に対して高速フーリエ変換（Fast Fourier Transform: FFT）を行い、周波数領域の信号を抽出し多重分離部 3055 に出力する。

【0143】

多重分離部 1055 は、無線受信部 3057 から入力された信号を PUCCH、PUSCH、上りリンク参照信号などの信号に分離する。尚、この分離は、予め基地局装置 3 が無線リソース制御部 3011 で決定し、各端末装置 1 に通知した上りリンクグラントに含まれる無線リソースの割り当て情報に基づいて行われる。また、多重分離部 3055 は、測定部 3059 から入力された伝搬路の推定値から、PUCCH と PUSCH の伝搬路の補償を行う。また、多重分離部 3055 は、分離した上りリンク参照信号を測定部 3059 に出力する。

【0144】

10

20

30

40

50

復調部 3053 は、PUSCH を逆離散フーリエ変換 (Inverse Discrete Fourier Transform: IDFT) し、変調シンボルを取得し、PUSCH と PUSCH の変調シンボルそれぞれに対して、BPSK (Binary Phase Shift Keying)、QPSK、16QAM、64QAM、256QAM 等の予め定められた、または自装置が端末装置 1 各々に上りリンクグラントで予め通知した変調方式を用いて受信信号の復調を行う。復調部 3053 は、端末装置 1 各々に上りリンクグラントで予め通知した空間多重される系列の数と、この系列に対して行うプリコーディングを指示する情報に基づいて、MIMO-SM を用いることにより同一の PUSCH で送信された複数の上りリンクデータの変調シンボルを分離する。

【0145】

10

復号化部 3051 は、復調された PUSCH と PUSCH の符号化ビットを、予め定められた符号化方式の、予め定められた、又は自装置が端末装置 1 に上りリンクグラントで予め通知した伝送または原符号化率で復号を行い、復号した上りリンクデータと、上りリンク制御情報を上位層処理部 101 へ出力する。PUSCH が再送信の場合は、復号化部 3051 は、上位層処理部 301 から入力される HARQ バッファに保持している符号化ビットと、復調された符号化ビットを用いて復号を行う。測定部 3059 は、多重分離部 3055 から入力された上りリンク参照信号から伝搬路の推定値、チャネルの品質などを測定し、多重分離部 3055 および上位層処理部 301 に出力する。

【0146】

20

送信部 307 は、制御部 303 から入力された制御信号に従って、下りリンク参照信号を生成し、上位層処理部 301 から入力された下りリンク制御情報、下りリンクデータを符号化、および変調し、PDSCH、PDSCH、および下りリンク参照信号を多重または別々の無線リソースで、送受信アンテナ 309 を介して端末装置 1 に信号を送信する。

【0147】

符号化部 3071 は、上位層処理部 301 から入力された下りリンク制御情報、および下りリンクデータを符号化する。変調部 3073 は、符号化部 3071 から入力された符号化ビットを BPSK、QPSK、16QAM、64QAM、256QAM 等の変調方式で変調する。

【0148】

30

下りリンク参照信号生成部 3079 は、基地局装置 3 を識別するための物理セル識別子 (PCI) などを基に予め定められた規則で求まる、端末装置 1 が既知の系列を下りリンク参照信号として生成する。

【0149】

多重部 3075 は、空間多重される PDSCH のレイヤの数に応じて、1 つの PDSCH で送信される 1 つまたは複数の下りリンクデータを、1 つまたは複数のレイヤにマッピングし、該 1 つまたは複数のレイヤに対してプレコーディング (precoding) を行う。多重部 3075 は、下りリンク物理チャネルの信号と下りリンク参照信号を送信アンテナポート毎に多重する。多重部 3075 は、送信アンテナポート毎に、下りリンク物理チャネルの信号と下りリンク参照信号をリソースエレメントに配置する。

【0150】

40

無線送信部 3077 は、多重された変調シンボルなどを逆高速フーリエ変換 (Inverse Fast Fourier Transform: IFFT) して、OFDM 方式の変調を行い、OFDM 変調された OFDM シンボルにガードインターバルを付加し、ベースバンドのデジタル信号を生成し、ベースバンドのデジタル信号をアナログ信号に変換し、アナログ信号から中間周波数の同相成分および直交成分を生成し、中間周波数帯域に対する余分な周波数成分を除去し、中間周波数の信号を高周波数の信号に変換 (アップコンバート: up convert) し、余分な周波数成分を除去し、電力増幅し、送受信アンテナ 309 に出力して送信する。

【0151】

(1) より具体的には、本発明の第 1 の態様における端末装置 1 は、第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネルを受信する受信部と、

50

チャンネル状態情報（C S I）を報告する送信部と、を備え、第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1 つまたは複数の C S I 報告の設定、1 つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分（B W P）インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおける B W P の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている B W P インデックスが示す B W P のみの C S I 報告を送信する。

【0152】

（2）本発明の第 2 の態様における基地局装置 3 は、第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャンネルを送信する送信部と、チャンネル状態情報（C S I）報告を受信する受信部と、を備え、第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1 つまたは複数の C S I 報告の設定、1 つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分（B W P）インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおける B W P の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている B W P インデックスが示す B W P のみの C S I 報告を受信する。

【0153】

（3）本発明の第 3 の態様における通信方法は、端末装置の通信方法であって、第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャンネルを受信し、チャンネル状態情報（C S I）を報告し、第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1 つまたは複数の C S I 報告の設定、1 つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分（B W P）インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおける B W P の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている B W P インデックスが示す B W P のみの C S I 報告を送信する。

【0154】

（4）本発明の第 4 の態様における通信方法は、基地局装置の通信方法であって、第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャンネルを送信、チャンネル状態情報報告を受信し、第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1 つまたは複数の C S I 報告の設定、1 つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分（B W P）インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおける B W P の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている B W P インデックスが示す B W P のみの C S I 報告を受信する。

【0155】

（5）本発明の第 5 の態様における集積回路は、端末装置に実装される集積回路であって、第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャンネルを受信する受信手段と、チャンネル状態情報（C S I）を報告する送信手段と、を備え、第 1 の情報フィールドは、第 1 の情報を示し、前記第 1 の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1 つまたは複数の C S I 報告の設定、1 つまたは複数の C S I 測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分（B W P）インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおける B W P の C S I 報告がトリガされた場合に、活性化されている B W P インデックスが示す B W P のみの C S I 報告を送信する。

【0156】

（6）本発明の第 6 の態様における集積回路は、基地局装置に実装される集積回路であって、第 1 の情報フィールドを含む下りリンク制御情報を運ぶ物理下りリンク制御チャネ

10

20

30

40

50

ルを送信する送信手段と、チャネル状態情報（C S I）報告を受信する受信手段と、を備え、第1の情報フィールドは、第1の情報を示し、前記第1の情報は、複数の状態の内の一つを示し、前記複数の状態の各々の状態は、サービングセルごとに設定され、1つまたは複数のC S I報告の設定、1つまたは複数のC S I測定のための参照信号に関する設定、および、各サービングセルにおける帯域部分（BWP）インデックスに関連付けられ、複数のサービングセルにおけるBWPのC S I報告がトリガされた場合に、活性化されているBWPインデックスが示すBWPのみのC S I報告を受信する。

【0157】

本発明に関わる装置で動作するプログラムは、本発明に関わる実施形態の機能を実現するように、Central Processing Unit（CPU）等を制御してコンピュータを機能させるプログラムであっても良い。プログラムあるいはプログラムによって取り扱われる情報は、一時的にRandom Access Memory（RAM）などの揮発性メモリあるいはフラッシュメモリなどの不揮発性メモリやHard Disk Drive（HDD）、あるいはその他の記憶装置システムに格納される。

【0158】

尚、本発明に関わる実施形態の機能を実現するためのプログラムをコンピュータが読み取り可能な記録媒体に記録しても良い。この記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行することによって実現しても良い。ここでいう「コンピュータシステム」とは、装置に内蔵されたコンピュータシステムであって、オペレーティングシステムや周辺機器等のハードウェアを含むものとする。また、「コンピュータが読み取り可能な記録媒体」とは、半導体記録媒体、光記録媒体、磁気記録媒体、短時間動的にプログラムを保持する媒体、あるいはコンピュータが読み取り可能なその他の記録媒体であっても良い。

【0159】

また、上述した実施形態に用いた装置の各機能ブロック、または諸特徴は、電気回路、たとえば、集積回路あるいは複数の集積回路で実装または実行され得る。本明細書で述べられた機能を実行するように設計された電気回路は、汎用用途プロセッサ、デジタルシグナルプロセッサ（DSP）、特定用途向け集積回路（ASIC）、フィールドプログラマブルゲートアレイ（FPGA）、またはその他のプログラマブル論理デバイス、ディスクリットゲートまたはトランジスタロジック、ディスクリットハードウェア部品、またはこれらを組み合わせたものを含んでよい。汎用用途プロセッサは、マイクロプロセッサであってもよいし、従来型のプロセッサ、コントローラ、マイクロコントローラ、またはステートマシンであっても良い。前述した電気回路は、ディジタル回路で構成されていてもよいし、アナログ回路で構成されていてもよい。また、半導体技術の進歩により現在の集積回路に代替する集積回路化の技術が出現した場合、本発明の一又は複数の態様は当該技術による新たな集積回路を用いることも可能である。

【0160】

なお、本発明に関わる実施形態では、基地局装置と端末装置で構成される通信システムに適用される例を記載したが、D2D（Device to Device）のような、端末同士が通信を行うシステムにおいても適用可能である。

【0161】

なお、本願発明は上述の実施形態に限定されるものではない。実施形態では、装置の一例を記載したが、本願発明は、これに限定されるものではなく、屋内外に設置される据え置き型、または非可動型の電子機器、たとえば、AV機器、キッチン機器、掃除・洗濯機器、空調機器、オフィス機器、自動販売機、その他生活機器などの端末装置もしくは通信装置に適用出来る。

【0162】

以上、この発明の実施形態に関して図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更等も含まれる。また、本発明は、請求項に示した範囲で種々の変更が可能であり、異なる実施形

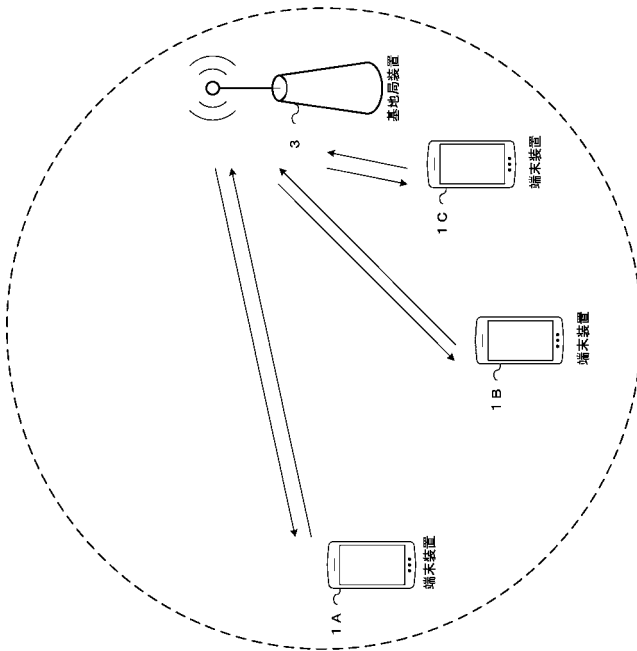
態にそれぞれ開示された技術的手段を適宜組み合わせ得られる実施形態についても本発明の技術的範囲に含まれる。また、上記各実施形態に記載された要素であり、同様の効果を奏する要素同士を置換した構成も含まれる。

【符号の説明】

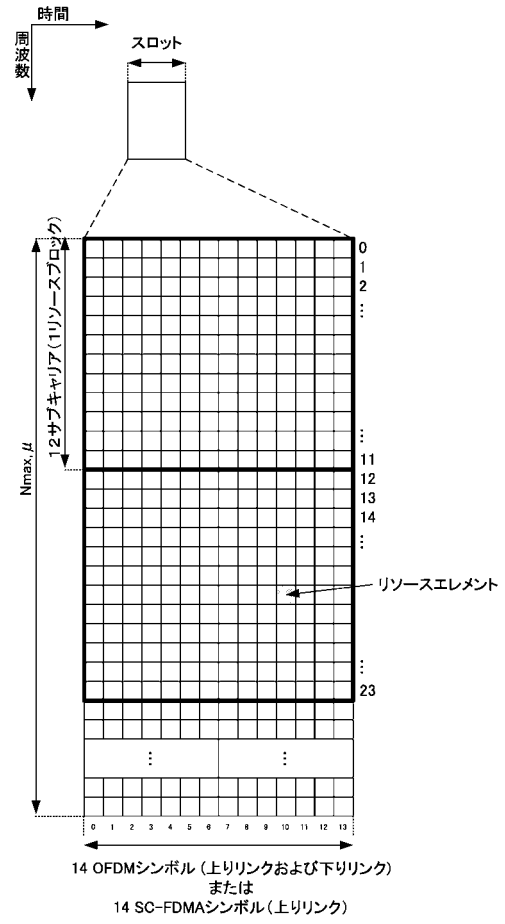
【0163】

1 (1 A、1 B、1 C)	端末装置	
3	基地局装置	
10	TXRU	
11	位相シフタ	
12	アンテナ	10
101	上位層処理部	
103	制御部	
105	受信部	
107	送信部	
109	アンテナ	
301	上位層処理部	
303	制御部	
305	受信部	
307	送信部	
1011	無線リソース制御部	20
1013	スケジューリング情報解釈部	
1015	チャネル状態情報報告制御部	
1051	復号化部	
1053	復調部	
1055	多重分離部	
1057	無線受信部	
1059	測定部	
1071	符号化部	
1073	変調部	
1075	多重部	30
1077	無線送信部	
1079	上りリンク参照信号生成部	
3011	無線リソース制御部	
3013	スケジューリング部	
3015	チャネル状態情報報告制御部	
3051	復号化部	
3053	復調部	
3055	多重分離部	
3057	無線受信部	
3059	測定部	40
3071	符号化部	
3073	変調部	
3075	多重部	
3077	無線送信部	
3079	下りリンク参照信号生成部	

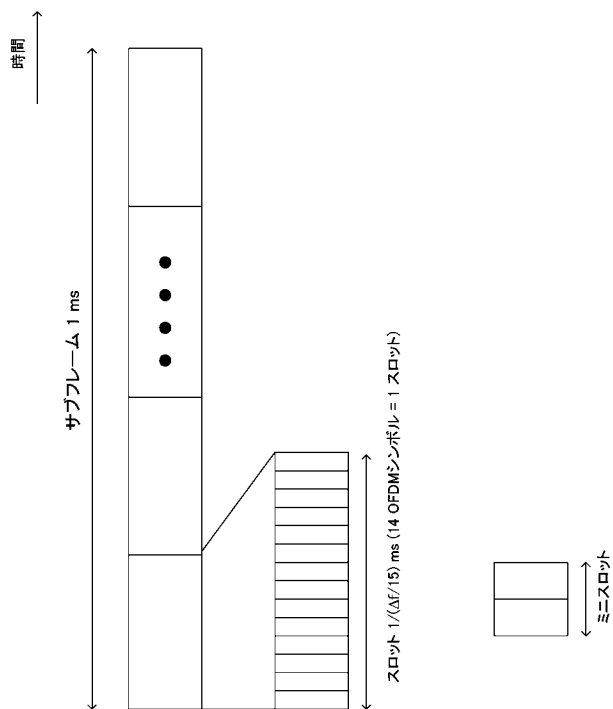
【図 1】



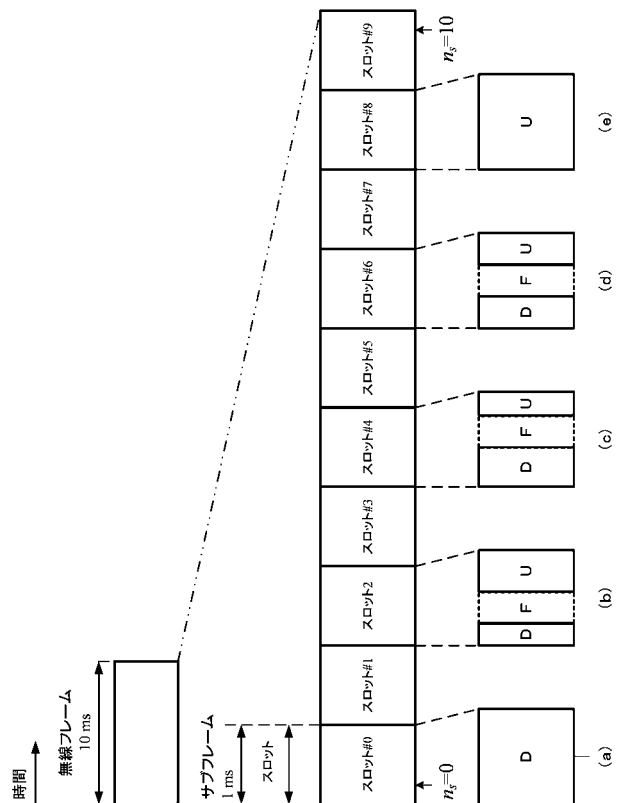
【図 2】



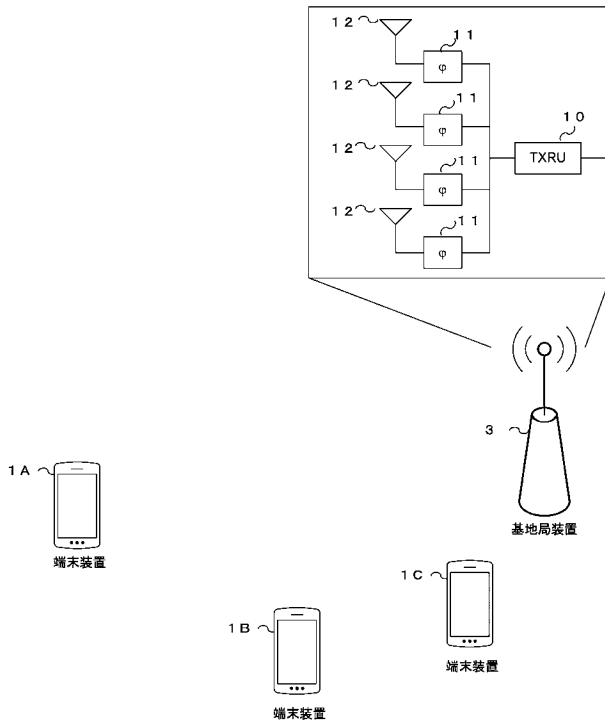
【図 3】



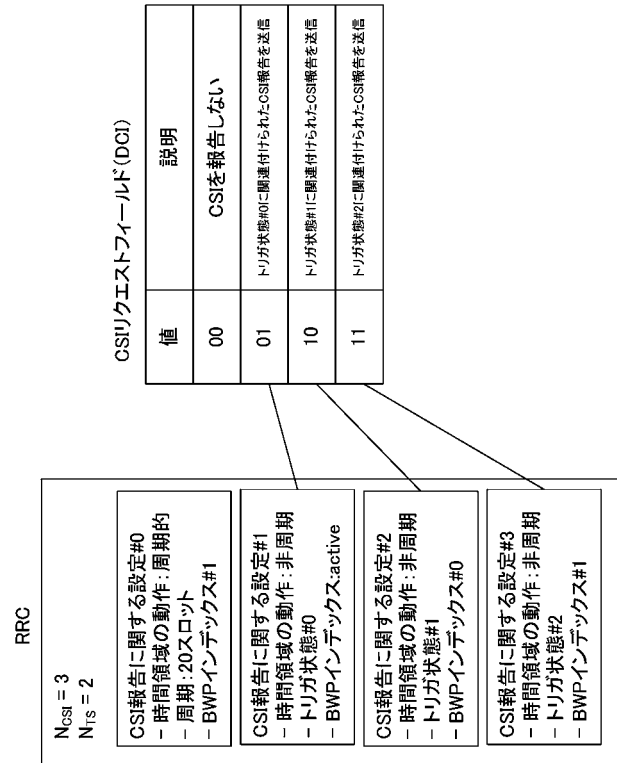
【図 4】



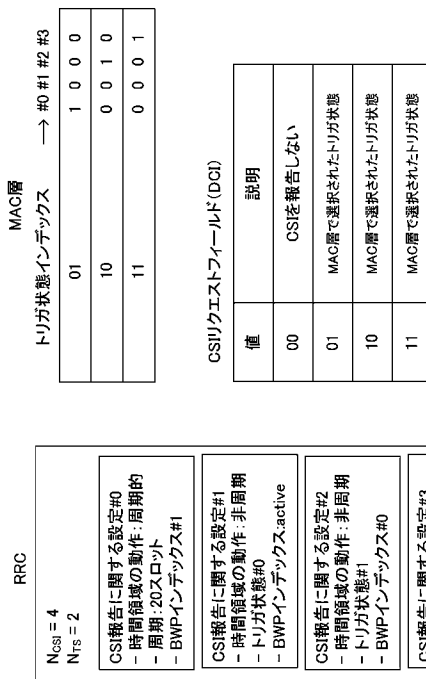
【図 5】



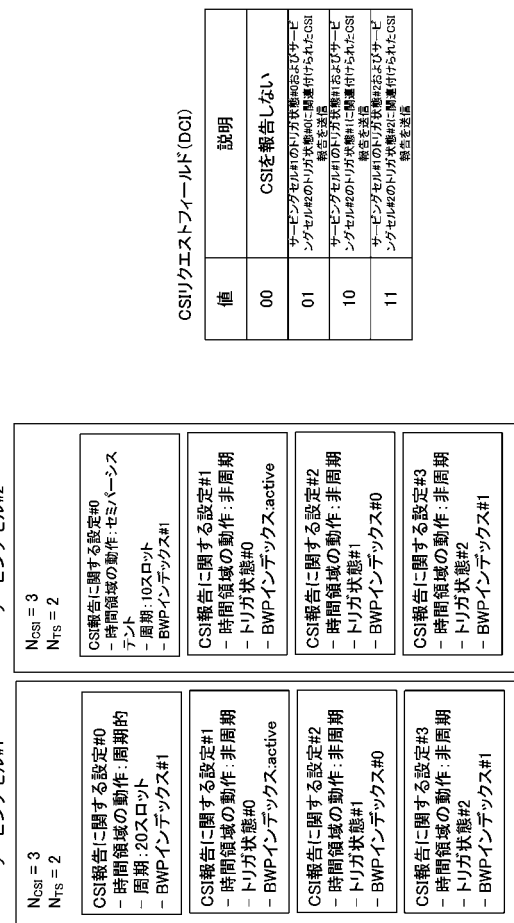
【図 6】



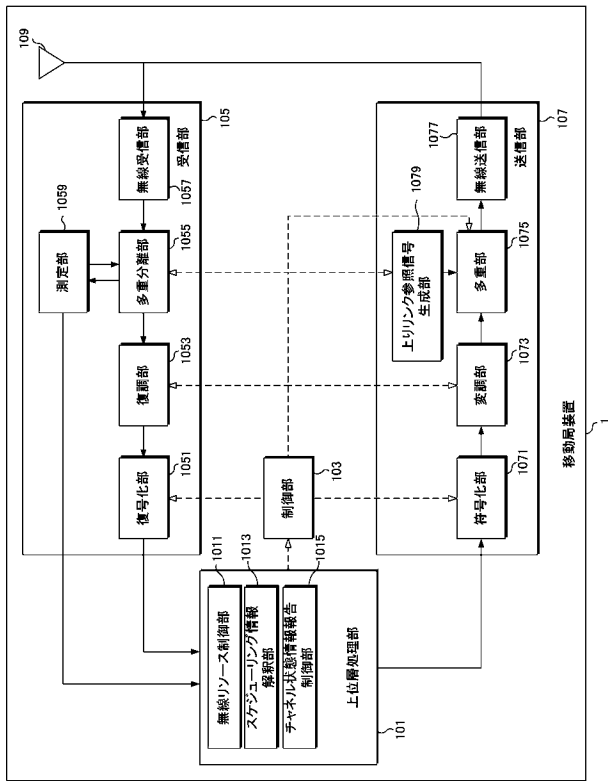
【図 7】



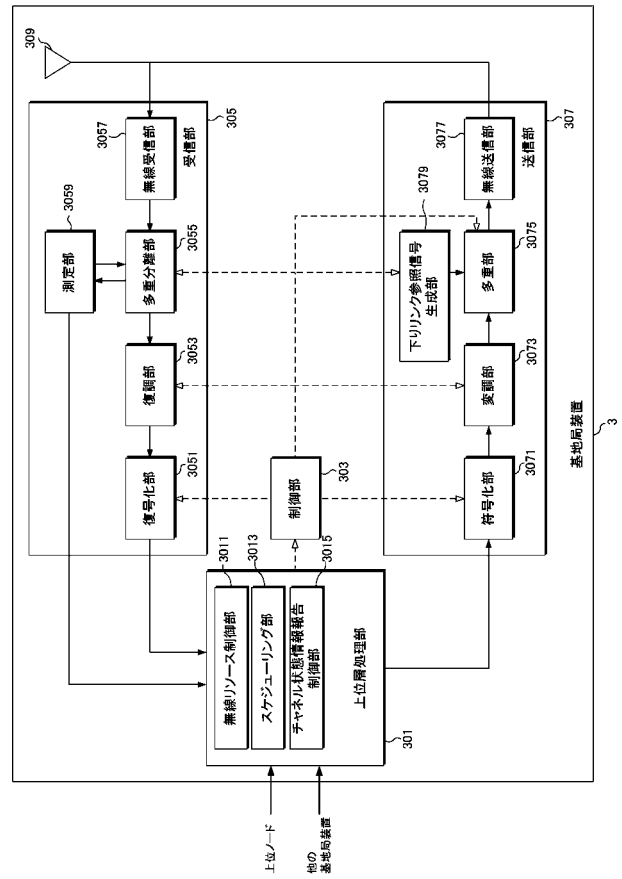
【図 8】



【図 9】



【図 10】



フロントページの続き

(72)発明者 高橋 宏樹

大阪府堺市堺区匠町 1 番地 シャープ株式会社内

Fターム(参考) 5K067 AA13 AA23 DD11 EE02 EE10 LL05